

**EV メーカーの GLM、京セラと協業**  
**京セラの技術をスポーツ EV に搭載**  
**最新のデバイスとシステムを実装したコンセプトカーをお披露目**

記者説明会 : 5/22(火)10:30~ @ 京セラ・東京事業所(品川)

実車の披露 : 5/23(水)10:00~ @ 人とくるまのテクノロジー展(横浜)

電気自動車(EV)メーカーの「GLM(株)」(京都市左京区)と「京セラ(株)」(京都市伏見区)は共同で、京セラの最新の技術を当社スポーツタイプのEV「トミーカイラ ZZ」に搭載したコンセプトカーを手がけました。両社の協業は今回が初めてです。

当社は「完成車事業」のほかに、「自動車メーカーのEVの量産・研究開発支援」や「部品・素材・化学・ITメーカー等の自動車関連事業の技術・開発支援」を展開する「プラットフォーム事業」に注力する事業方針を、今年3月に発表しています。本件は、その「プラットフォーム事業」の一環です。

車には、京セラ独自の光学設計による高精細・高感度の車載カメラを活用した電子ミラーやサラウンドビューシステムのほか、パネルを指でタッチした際に微細な振動でクリックしたことを伝える触覚伝達技術(HAPTIVITY®)を搭載したディスプレイなど、「安全・安心かつ快適」な運転をサポートする最新のデバイスやシステムを多数実装しています。

そしてこの度、そのコンセプトカーが、横浜で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2018 横浜」(2018年5月23日(水)-25日(金))の京セラの展示ブースで、一般向けに披露されます。

また開催前日となる2018年5月22日(火)に、京セラが東京事業所で行う、報道各位向けの「京セラ出展製品・技術に関する説明会」で、本件が発表されます。当日は、車の写真や実際の走行シーンを含む動画(プロモーション動画)もご覧いただけます。

つきましては是非、本件のご取材を賜りますと幸いです。



外観は「トミーカイラ ZZ」。内部に最先端のデバイスやシステムを搭載、内装もコンセプトカー向けに刷新し“近未来”を演出

内 容	京セラ出展製品・技術に関する説明会	車の披露(展示)
日 時	2018年5月22日(火)	2018年5月23日(水)-25日(金)
時 間	10:30~11:30	10:00~18:00 ※最終日のみ~17:00
場 所	京セラ東京事業所 東京デザインラボ	人とくるまのテクノロジー展 2018 横浜
住 所	品川区東品川 3-32-42 ISビル 6F ※当日は 10:20 までにロビーにご集合ください。 京セラ広報スタッフがご案内します	横浜市西区みなとみらい 1-1-1「パシフィック横浜」
最寄駅	天王洲アイル駅	みなとみらい駅
備 考	GLM 側は COO の田中智久が会場に対応	GLM 側は広報の河内が初日のみ会場に対応
ご注意	22日の車両展示はなく、写真・動画のみを公開。車両をご覧いただけるのは23日以降です。	

<ご参考資料/GLMのプラットフォーム事業について>

## 車の中身(心臓部分)を提供するプラットフォーム事業に世界が注目



当社は完成車の開発、販売の他、車の心臓部にあたるプラットフォームやその一部、ひいては開発ノウハウや自動車関連企業・機関との協力関係(GLMエコシステム)を、カーメーカーやその他の企業に提供する「プラットフォームビジネス」も事業の柱に据えています。

GLMのこの「プラットフォームビジネス」が世界から注目をされるのは、当社と組めば、例えば自動車メーカー以外でも自社オリジナルのEVを開発することができる点です。

当社はプラットフォーム事業を通じて、EVに新規参入したい各国企業の、開発部隊の役割を担う考えです。

EVは今、環境対応という社会的ニーズの高まりを受けて、世界の様々な業種が注目しています。「部品点数が少なくガソリン車より参入障壁が低い」といった見方もされますが、量産を目指した開発となると高い技術力や莫大な初期投資が必要で、ゼロからビジネスを立ち上げるのは困難です。

そうした背景から、当社のプラットフォーム事業は、新たな市場を切り開くものとして、欧州やアジアを中心に国内外で注目を集めています。連携を検討している企業もIT企業や電気メーカーのほか、EVを使ったモビリティ(移動手段)を自らの事業に組み込もうとしているサービス事業者まで多岐にわたります。



旭化成と共同で、同社の最先端技術や素材など計27品目を搭載したコンセプトカーを開発(2017.5発表)。車両内部に、「トミーカイラZZ」のプラットフォーム部分を活用しているので、実際に走るのが特長。素材メーカーが“走る車”を完成させたことは、驚きを持って迎え入れられました

## 中国・インドを中心とした新興国の自動車メーカー等から幅広い依頼

プラットフォーム事業は主に2軸で展開します。一つは「①自動車メーカーのEVの量産・研究開発支援」で、もう一方が「②部品・素材・化学・ITメーカー等の自動車関連事業の技術・開発支援」です。

①として、フレームやシャシー、制御システム等といった車両内部のモジュールや、技術基盤等の中核部分を外部に提供し、EVの量産・開発を支援します。実際に、中国やインドといった新興国を中心に、EVの量産支援に関する引き合いは増えており、依頼内容も多岐にわたります。

これまで多くの実績を積んできた②では、各社の新技術や部品の共同開発、保有技術の自動車分野への応用、先行開発品や既存製品を搭載したコンセプトカーや試作車両の製作といった、幅広い依頼に対応します。自動車開発を総合的に見ることができる完成車メーカーとしてのノウハウをもとに車両開発の支援を行います。

世界的なEVシフトが加速するなか、EV市場に新規参入したい企業や、自社の自動車事業を拡大したい企業はますます増えています。当社は、そうした各社の課題を解決する自動車メーカーとして、EV市場において、独自のポジションを確立したい考えです。

### 報道各位からの問い合わせ先

GLM 広報事務局((株)Clover PR内) 担当:澤本 tel.03-6452-5220 mail: cloverpr@cloverpr.net

GLM(株) 広報 担当:河内 tel.0774-39-8822 mail: kawauchi@glm.jp